

特別賞

技術者の想いを「誰でも、わかる」アニメへ！
技術部門と広報の社内リリース
が生んだ 水道技術の伝え方

東亜グラウト工業

術を取り入れてきた。

2022年には、イス

ラエルのユーティリス社、米国のオペティマ

ティクス社と国内代理店

契約を締結。人工衛星

データやAIを活用し、

事業体が保有するGIS

(地理情報システム)に

統合することで、最適な

管路更新計画の策定を支

援する新技術の提案に力

を入れている。

飯塚さん(左)、森さん

説明するもの。

動画の企画を担当した

企画部の森早紀さんは、

技術部門の担当者と新技

海外の先進技術の仕組みをわかりやすく

衛星データやAI解析の過程を視覚化

今回、広報特別賞を受賞したアニメーション動画は、衛星による漏水検知技術「アステラ・リカパー」(ユーティリス社)と、AIによる管路更新計画策定支援技術「アセットアドバンス」(オペティマティクス社)を

術の導入を検討する各事業体の担当者間には、『伝わらない壁』があったと話す。

「当社では、さまざまな海外の技術を国内に紹介してきました。例えば、光や蒸気で硬化する樹脂を使った更生工法

や、特殊アイスシャベットを使った洗浄工法のような、管路のハード取り出すことができない技術は、『百聞は一見に如かず』で、実機を使った

言葉に「翻訳」すれば、複雑な技術でも、正確に直感的に伝えられるのではないかと考えた。

アニメーションの制作にあたっては、「誰でもわかる」コンテンツを

技術の説明では、アステラや、女性と男性のナレーションを使い分ける

います」を展覧している。



アセットアドバンスのアニメーション



アセットアドバンスのアニメのQRコード

ことが課題でした。

広報担当としての経験から、この壁を打破するために、『どうすれば

伝わるか』を常に相手目線で考えることが大切だと気付いた森さん。

水道展や下水道展の技術担当者とのプレゼンテーションをもとにアニメ化し、専門用語を日常的な



なぜ人工衛星から地下の漏水がわかるのか

アステラ・リカパーのアニメーション



アステラ・リカパーのアニメのQRコード

など、視聴者の心理的なハードルを下げる工夫もしました。

技術担当の水道事業部飯塚朋佳さんは、「海外の先進技術を積極的に取り入れ、日本の水道事業

体が抱える課題に合わせて提案している当社だからこそ、技術の背景や特

長を丁寧に伝えることを大切にしたい、そのような思いがあります。

海外の技術は、仕組みや国内での適用可能性について、理解するための情報

が限られている場合もあります。また専門の方に説明する際に、言葉

だけでは伝わりにくいことがありますが、そのため、

仕組みを視覚的にわかりやすく示すことのできる

アニメーションは、幅広い方々に技術への理解を

深めていただくためのツールとして活用しています」

と語っています。

「導入部では、アステラは『なぜ宇宙から地下の水が見えるのか』、ア

セットアドバンスは『限られた予算でどこから直どのよう印象を抱くか

すの?』という素朴な疑問を入口とすることで、

自然に理解が深められるような導線を設けまし

各動画のテーマにあわせてアニメのテイストを変

えたり、女性と男性のナレーションを使い分ける

います」を展覧している。

東亜グラウト工業で(施設の老朽化・カネ財は、全国の水道事業体が源)の課題解決に向け、海外から多くの最先端技

